

輝け田底っ子

第48号

文責：校長 益永 一幸

令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ① 最後までがんばろう ② 上手に伝え合おう ③ 自他を大切にしよう



不審者対応避難訓練を実施 ～被害に遭わないために～

1月17日（火）の2校時に不審者が学校に侵入したという想定での避難訓練を行いました。2001年6月8日、大阪府の附属池田小学校の無差別殺傷事件の教訓をもとに、毎年学校では「不審者対応避難訓練」を行っています。今回は、不審者が1階の1・2年教室ベランダ近くを通り、児童玄関から校舎内に入って、3・4年教室に侵入しようとする想定での訓練でした。



当日は、熊本北合志警察署生活安全課スクールサポーターの秋山様と同少年係の大井様に直接訓練の様子を見ていただき、プロの目で被害に遭わないポイントを指導していただきました。

まず、児童は、「不審者だと思ったら、すぐに近くの先生に知らせる」「先生の指示に従い声を出さずに避難する」ということがポイントだそうです。教師は、「初期対応は不審者に声をかける」「子どもを避難させる」「関係機関に連絡する」「不審者を確保する」など、連携して対応することの大切さを教えていただきました。

登下校中にも不審者に遭遇することも考えられます。「いかのおすし」の合言葉で、自分の命を守る行動をとってほしいという指導もいただきました。

3年「社会」「総合的な学習の時間」～地域の安全を守る人～



18日（水）の2校時に、3年教室に地域のスペシャルゲストをお招きしました。3年生は「田底の安全守り隊」の一員として、田底の安全マップを作っています。色々学習していくうちに、地域の人々が自分たちの安全を守ってくれているということにも気づいたようです。

そこで今回、「田底駐在所の東原様」「防犯協会長の大橋様」「交通安全協会長の森川様」に、地域の安全を守っている日ごろの思いを語って

いただきました。大橋様は「みんなは田底の金の卵。一生懸命見守っている。みんなは、学校、地域、家庭から見守られていることを忘れないでほしい。」と言われたことが心に残りました。